

ボート部



▲ボート部員は旧彦根港で熱心に練習に取り組んでいる。

お堀から全国へ!

今回は「優勝してインターハイに出場する」という目標を掲げるボート部を取材した。ボート部は今週末に滋賀県立琵琶湖漕艇場で行われる滋賀県高等学校春季総合体育大会に出場する。

ボート部は男子が3年生6人、2年生7人、1年生3人、女子が3年生4人、2年生2人、1年生1人で活動している。普段は月曜日から金曜日の放課後と土曜日の午前中に旧彦根港で練習している。佐和山や多賀大社、長浜一丁目まで走ることもあり、大会前には大会の会場になっている瀬田川でも練習している。

うだ。ボート部の練習メニューは個人で決めることができ、エルゴメーターというトレイニングマシンを使い、ランニングや筋トレをしたりして体を鍛え



▲部の雰囲気話す森沢さん

暑くて、体力も頑張る必要があるので大変だが、ボートは進行方向に背を向けて進むので試合で1位になっても他の人が前に見えたり、2人で漕

顧問の森一夫先生から見たボート部は、大会前でそれぞれ目標を持って頑張っていることが感じられる雰囲気だそう。また森先生は春季総体に向けて頑張っている部員に「自分に負けずに高い目標を持って頑張れ」とエールを送られた。

いでスピードに乗れたりすると気持ち良いので好きだ」と熱い口調で話した。最後に「今からでも間に合うのでボートをやりたいと思う人はぜひ入部してください」とコメントを寄せた。

彦根東高校新聞

速報新聞 発行所 彦根東高等学校 新聞部 彦根市金亀町4番7号

キマダレ

一線の下の力持ち



▲ボート部を支える瀬戸川さん(左)と竹林さん

ワネージャーの竹林晴果さん(3-8)と瀬戸川鈴佳さん(2-6)は、部員がボートを漕いでいる姿をビデオで撮ったりノートに良いところとよくないところをメモしたりしてボート部を支えており、細かい所まで見てメモすること心がけているという。怪我をして選手からワネージャーになった竹林さんは「最初はつらくて辞めたいときもあったが、みんなのために何かできればと思った」と話した。春季総体に出場する選手に向けて瀬戸川さんは「春の大会で3年生は最後の力で全力を尽くして頑張ってください」とメッセージを送った。